

学校法人 河原学園 未来高等学校 R7年度年間指導計画

教科	理科	科目	化学基礎		学年	2年次	単位数	2単位	
教科書	東京書籍 新編化学基礎		副教材		なし				
レポート 添削指導	6通		スクーリング 面接指導	8回	メディア 視聴票	4通	試験		2回
指導 目標	・日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験（映像教材などを含む）などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験（映像教材などを含む）などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。								
No	日付	レポート 提出日	単元	学習内容			面接 回数	メディア(NHK高校講座)	
1	4月12日	5月22日	1編 化学と人間生活 2章 物質の成分と構成元素 1節 物質の成分 2節 物質の構成元素 3節 物質の三態	・純物質と混合物 ・元素 ・元素の確認 ・粒子の熱運動 ・単体と化合物 ・物質の三態と状態変化			2	1 私たちのくらしと化学 2 純物質と混合物 3 物質の三態 4 単体と化合物 5 元素の確認	
2	5月22日	6月19日	2編 物質の構成 1章 原子の構成と元素の周期表 1節 原子の構造 2節 電子配置と周期表	・原子 ・原子の電子配置 ・同位体 ・元素の周期表			1	6 原子 7 原子核と電子 8 電子殻と電子配置 9 元素の周期表	
3	6月19日	7月17日	2章 化学結合 1節 イオンとイオン結合 2節 分子と共有結合 3節 金属と金属結合 4節 化学結合と物質の分類	・イオンの生成 ・イオン結合とイオン結晶 ・共有結合と分子の形成 ・配位結合 ・分子間力と分子結晶 ・金属結合 ・化学結合と性質の分類 ・イオン化エネルギー ・高分子化合物 ・電気陰性度と分子の極性 ・共有結合の結晶			1	10 イオンの形成 11 イオン結合とイオン結晶 12 分子と共有結合 13 分子の極性 14 金属と金属結合 15 物質の性質を学ぶ ①～無機物質～ 16 物質の性質を学ぶ ②～有機化合物～ 17 構成粒子と物質の分類	
4	7月17日	10月29日	3編 物質の変化 1章 物質量と化学反応式 1節 原子量・分子量・式量 2節 物質量 3節 溶液の濃度 4節 化学反応の表し方 5節 化学反応の表す量的関係	・原子の相対質量 ・分子量・式量 ・アボガドロ数と物質量 ・溶液の濃度 ・化学反応式 ・化学反応の表す量的関係 ・原子量 ・1 mol の気体の体積 ・イオン反応式			2	18 原子量・分子量・式量 19 物質量 20 物質量と気体の体積 21 溶液の濃度 22 化学反応式 23 化学反応式と量的関係	
5	10月29日	11月27日	2章 酸と塩基 1節 酸と塩基 2節 水素イオン濃度とpH 3節 中和反応と塩の生成 4節 中和滴定	・酸と塩基の性質・定義 ・酸と塩基の価数 ・水素イオン濃度 ・pH 指示薬とpH の測定 ・中和反応と塩の生成 ・中和滴定の量的関係 ・滴定曲線 ・広い意味の酸・塩基 ・水素イオン濃度とpH ・塩の種類 ・中和滴定			1	24 化学がたどってきた道 25 酸と塩基 26 酸と塩基の強さ 27 水素イオン濃度とpH 28 指示薬とpH の測定 29 中和反応と塩の性質 30 中和反応の利用 31 中和反応の量的関係 32 中和滴定	
6	11月27日	1月23日	3章 酸化還元反応 1節 酸化と還元 2節 酸化剤と還元剤 3節 金属の酸化還元反応 4節 酸化還元反応の応用	・酸化剤と還元剤 ・酸化剤と還元剤のはたらきの強さ ・酸化と還元 ・金属のイオン化傾向 ・電池のしくみ ・金属の製錬 ・電子の授受と酸化還元反応式 ・酸化還元滴定 ・酸化数と酸化還元反応 ・金属の反応性 ・実用電池			1	33 酸化・還元 34 酸化・還元と酸化数 35 酸化剤と還元剤 36 金属のイオン化傾向 37 電池と電気分解 38 身近な酸化還元反応 39 化学が拓く世界①～くらしを支える科学技術～ 40 化学が拓く世界②～持続可能な社会と科学技術～	
学習の成果に係る評価規準									
【知識・技能】 ・自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・観察、実験（映像教材などを含む）などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。									
【思考力・判断力・表現力】 ・自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し、観察、実験（映像教材などを含む）などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現している。									
【主体的に学習に取り組む態度】 ・自然の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている。									
○上記の評価規準に基づき、レポート及び課題等の提出物の状況、スクーリングに取り組む姿勢及びスクーリングに基づく成果、前期・後期2回の試験結果を総合的に判断して、評価を行う。									
○【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】の3つの観点ごとに、それぞれ上位からA、B、Cの三段階で評価を行い、その観点別評価に基づき、総合的な評価を5段階（最上位を5とし、最下位を1とする）で評価する。									
単位の修得の認定に関する基準									
観点別評価に基づいて総合的に評価された5段階評価のうち、5～2の評価を受けた者に対して、科目に配当された単位数の修得を認める。									